

老化メカニズムの解明 ～新しい老化保護技術の開発～



大田 秀隆

Hidetaka Ota

教授 博士（医学）

高齢者医療先端研究センター

研究キーワード

健康長寿、基礎老化理論、個体老化、細胞老化、老化抑制機構

研究概要

ヒトは年齢を重ねるとともに、様々な生理的な変化が生じてきます。例えば、認知症や骨粗鬆症、フレイルやサルコペニア、白内障や難聴など、加齢に伴い起きてくる疾患も多くあります。そのため、老化現象を制御するための新たな薬剤（老化保護剤）や食品、技術の開発が求められています。本研究では、基礎老化理論に則った評価手法を用いることで、基礎および臨床研究の両面からその効果を検討してまいります。具体的には、細胞老化指標や老化モデルマウスを用いた老化度の評価から、地域在住の高齢者の介入研究を行っております。特に非～低侵襲的な介入手法が望まれます。



予想される応用例

老化を抑制するための薬品、食品、機器の開発

産業界へのアピールポイント

様々な老化指標を用いて、細胞から個体レベルまで評価を行っています。トランスレーショナル・リサーチにつながることを期待しております。